

1 工事場所 黒部市榑木地内

建 物 名 称	構 造	階 数	延 面 積 (㎡)	消防法施行令 別 表 第 一	耐震安全性的分類	備 考
黒部市商工会議所会館	S造	2階	606.69㎡	第(15)項	乙類	

1 共通仕様

- ・電気設備工事
- (1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通大臣官庁庁舎課の「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事) 令和4年版」、「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事) 令和4年版」及び「公共建築設備工事標準(電気設備工事) 令和4年版」による。
- (2) 建築工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、それぞれの仕様書を用いる。
- ・機械設備工事
- (3) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通大臣官庁庁舎課の「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事) 令和4年版」、「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事) 令和4年版」及び「公共建築設備工事標準(機械設備工事) 令和4年版」による。
- (4) 建築工事及び電気設備工事を本工事に含む場合は、それぞれの仕様書を用いる。
2. 特 記 仕 様
- (1) 章及び項目は番号に○印の付いたものを用いる。
- (2) 特記事項(○)に選択する項目は、○印の付いたものを用いる。○印の付かない場合は、※印の付いたものを用いる。

	項目	特記事項
○ 一般共通事項 1	一般共通事項の適用	・ 本仕様書の一般共通事項 1 を適用する。 ○ 建築師記仕書の一般共通事項 1 を適用する。
	1 工事実績情報の登録	・ 適用する。
	2 下請開報の適正化	・ 本仕様書を下請けに付す場合は、「建設工事の下請開報の適正化に関する留意事項」を遵守すること。 ※受注者は、請負代金内訳書を作成し、工事請負締結後7日以内に発注者に提出すること。 「富山県土木工事共通仕様書」1-1-1~46個の情報を取捨選択することによる。
	3 請負代金内訳書の提出	
	4 個人情報の取扱いについて	
	5 環境への配慮	1 使用する機材等に「富山県グリーン購入調達方針」で定めるものがある場合には、それに適合するものとする。 2 建物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の(1)から(4)を満たすものとする。 (1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板層材、MDF、パーティクルボード、の他の木質建築、2. ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、紙衝材、断熱材、塗料、仕上塗料はアセトアルデヒド及びエチレンを発生しない又は発生が極めて少ない材料で、「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 (2) 接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 (3) 接着剤は、可塑性(フタル酸ジエチルベンジル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等)を含有しない難燃性可塑性を除くが添加されていない材料を使用する。 (4) (1)の材料を使用して作られた家具、塗装、架装、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、フタルデヒド及びエチレンを発生しないか、発生が極めて少ない材料を使用したものとする。
	6 材料・機材の品質等	1 本工事に使用する材料・機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 2 下記に示す材料・機材等の製造業者等は次の(1)から(6)すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承認を受ける。ただし、製造業者等名が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。 (1) 品質及び性能に関する試験データを整備していること。 (2) 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 (3) 安定的な供給が可能であること。 (4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 (5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性が高いこと。 (6) 販売、保守等の営業体制を整えていること。 対象機材等 () 3 使用する機材が、国土交通省大臣官庁官庁事務部監修の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業設備機材等評価名簿」による場合は、標準仕様書第1編1.4.2の品質及び性能を有することを証明できる資料の提出を省略することができる。
	7 地場産品の優先使用等	1 地場産品の優先使用 受注者は、工事に使用する資材等について、品質が水準以上であり、かつ価格が適正である場合は、県内・地場産品（建設資材又は製品等、県内で最終製造工程が施されたもの又は県内に本社・本店を置く取扱業者から調達したものをいう）を優先使用するものとする。 2 県内企業の優先選定等 受注者は、工事に係る「請約又は資材等納入契約を締結する場合には、当該契約の相手方は富山県内に本社・本店を置くものの中から選定するものとする。受注者は、県内において適正に処理するものとする。発生材は排外搬出処分とし、その費用も含め受注者自らの責任において適正に処理するものとする。 ※舗装切断作業に伴い、切断機から発生する排水については、排水吸引機能を有する切断機械等による回収し、適正に処理する。 ・ 建設リサイクル法対象工事（契約額1億円以上（税込）） ・ 再資源利用計画書等の作成及び提出 ※ 運搬、処分等に関する契約書及び許可証の提示 ※ マニフェスト管理一貫表の提示
	9 電気保安技術者	電気保安技術者を工事現場に ・ おく ・ おかない
	10 監督職員事務所	・ 設けない ・ 設ける
	11 工事用電力、水その他	本工事に必要な工事用電力、水、燃料及び諸手続等の費用は受注者の負担とする。
	12 工事用仮設物	構内へ置くことが ・ できる ・ できない 「富山県土木工事共通仕様書」1-1-1-33環境対策に記載の排出ガス対策型建設機械及び低騒音型、低振動建設機械を使用するものとする。
	13 施工機械	
	14 現場代理人の工事現場における常駐を要しない期間	次のいずれかに該当し、かつ、受注者と連絡体制が確保されると認めた場合には、工事現場における常駐を要しない期間として取り扱う。 (1) 契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間 (2) 工事の全部の施工を一時中止する期間 (3) 上記に該当するほか、工事現場において作業等が行われていない期間 次のいずれに依拠し、かつ、その期間が書面により明確となっている場合については、専任を要しない。
	15 主任技術者又は監督技術者の専任を要しない期間	(1) 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間 (2) 自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により、工事を全面的に一時中止している期間 (3) 工事完成後、検査が終了（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）・ 事務手続、後片付け等のがつてしている期間 (4) 又は(2)に類した理由で、工事が不稼働である期間 (5) 橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間
	16 安全教育・訓練の実施	労働安全衛生法等に基づき3日以上の安全教育のほか、すべての作業員を対象に、工事現場に即した安全教育・訓練等、を月当たり4時間以上の頻度で実施するものとする。（「富山県土木工事共通仕様書」1-1-29 工事の安全確保）
	17 調査・試験に対する協力	公共工事労務費調査等の対象工事となった場合は、監督職員の指示により必要な協力をしなければならない。（「富山県土木工事共通仕様書」1-1-1-13） ・ 本工事は、工事費積算のより一層の適正性を図ることを目的とした「共通費実態調査」の対象工事である。作成した調査票は監督職員へ提出すること。

⑤ 工事特性・創意工夫 ・社会性等の実施	受注者は、工事施工において、施工条件等への対応や自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する事項は地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完成までに「富山県職員工成績評価要領」第47項に定める様式により提出することができ。
19 暴力団関係者から不当な介入を受けた場合の措置	受注者は、本工事を施工するに当たり、暴力団関係者から不当な介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否し、不当な介入があった時点でその旨を監督職員に報告するとともに、警察に届け出る必要がある。また、下請業者に対しては、暴力団関係者から不当な介入を受けた場合には、速やかに旨を報告するよう指導し、下請業者から報告を受けた受注者は、速やかにその旨を監督職員に報告するとともに、警察に届け出なければならない。
20 低収入となった場合における技術者の増員等	1 工事に係る入札の結果、調査基準価格に満たない価格をもって入札をした者が受注者となった場合には技術者の配置については、次に掲げる場合の区分に応じ、それぞれ次に定めることとする。 (1) 建設業法の規定により技術者の専任配置が義務付けられる工事の場合 専任配置が義務付けられている技術者ととは別に、同法の規定により監理技術者の配置が義務付けられる工事においては監理技術者の資格を有する者を、それ以外の工事については主任技術者にし得る資格を有する者を1人、専任にて配置することとする。この場合において、これらの工事配置する技術者は、受注者より3ヶ月以上の雇用関係がある者に限る。 (2) 建設業法の規定による技術者の専任配置が義務付けられない工事の場合 同法の規定により配置が義務付けられている技術者を、専任にて配置するものとする。
21 間接工事費等の調整について	1 0 (1) により別に配置される技術者は、監理技術者等を補助し、監理技術者等と同様の職務を行うものとする。 2 工事の品質を確保するため、特記仕様書に示される施工に関する試験基準を2倍の頻度をもって実施品質管理を行うものとする。 3 本工事は、富山県が先行発注した下の工事（以下、「現工事」という。）と当該追加工事の設計金額合計額より定まる率によって算定した諸経費から、現工事にかかる諸経費を控除した額で調整した金とする。
工事番号： 工事名：	_____
22 総合評価方式	1 受注者は、実際の施工に際しては、事前に提出し適正とされた技術資料（技術提案書又は簡易施工図）の内容を履行すること。 2 受注者は、事前に提出した総合評価方式に係る技術資料に記載した配置予定技術者を配置しなければならない。 3 なお、上記1、2を履行できない場合及び、受注者が事前に提出した総合評価方式に係る技術資料に記載した内容に虚偽の報告があった場合においては、富山県公共工事総合評価方式実施要領に基づき工成績の減点（標準点においては、工成績の減点及び追徴金の徴収）をすることがある。 4 受注者は、「登録検査技術者の配置」を適用した試行工事であり、下配工程において登録検査技術者を配置する場合は、あらかじめ設計図書において、登録者情報や配置予定期間、作業内容等を注者に報告することとし、配置予定期間及び完成検査期において、発注者による履行の確認を行うこととする。なお、履行が確認できない場合、富山県公共工事総合評価方式試行要領に基づき工成績の減点をする可能性がある。
対象工種 ○〇工 ○□工 △△工	この工事は「下請負契約における県内企業の活用」を評価の対象とした試行工事である。施工時及び検査時において、発注者による履行の確認を行うこととする。なお、受注者の責に帰すべき理由により、入札時の申請に反して、施工時に県内企業の活用ができなかった場合には、工成績評価定点を3減点とする。
23 快適な仮設トイレの設置工事	1 本工事は、建設現場より働きやすい環境に改善するため、受注者が希望すれば、快適に使用できる仮設トイレ（洋式トイレ・快適トイレ）を設置することがある工事である。 2 快適な仮設トイレの設置工事の実施にあたっては、「快適な仮設トイレの設置工事」についてのお知らせによるものとする。このお知らせは、下記富山県のホームページから入手できる。 (https://www.pref.toyama.jp/1510/syngyou/nyuusatou/koukyokouji/kj00017588.html)
24 週休2日工事	1 週休2日工事の実施にあたっては、「週休2日工事（常緑工事）試行要領」令和6年5月 富山県本庁）に基づくものとする。この試行要領は、富山県土木部管轄緑地のホームページから入手できる。 (https://www.pref.toyama.jp/1508/kendokukuri/toshikeikaku/kenchiku/kj00021742.html) ※週休2日工事【発注者指定型】 本工事は、発注者が月単位の週休2日の実施を受注の条件とするものである。 ※週休2日工事【受注者希望型】 本工事は、発注者が工事着手日前に、発注者に対して、工事打合せ簿にて月単位の週休2日に取り組む旨を協議したうえで取り組むものである。 ※週休2日工事ではない ただし、受注者から希望があり、発注者と協議が整った場合は、週休2日工事【受注者希望型】と同等の取扱いができる。
25 余裕期間制度	1 フレックス方式対象工事 1 本工事は、円滑な工事施工体制の確保を図るため、全体工期の範囲内で受注者が工事の始期及び終期を設定することができる工事であり、富山県土木部所管建設工事に係る余裕期間制度（フレックス方式）実施要領に基づき実施するものとする。 2 工事の始期は、契約締結日の翌日から〇年〇月〇日まで、工事の終期は、〇年〇月〇日までとする。 3 受注者は、工事の始期後14日以内に施工計画書を発注者に提出するものとする。 4 受注者は、受注時の20%（OORING）への記録については、工事の始期後10日（休日を除く。）以内に登録するものとする。 5 受注者は、工事の始期後に速やかに、退職金制度届出書を発注者に提出するものとする。 6 余裕期間内に行う資機材の準備及び、技能労働者の手配などの準備等に必要現地への入り（工事着手以外の行為とする）については、発注者に了解を得るとともに関係法令等に基づく必要な手続きを行うものとする。 7 その他の特記仕様書に記載のないことについては、富山県土木部所管建設工事に係る余裕期間制度（フレックス方式）試行要領によるものとする。 ※発注者指定方式対象工事 本工事は、出水期や厳冬期などにより工事期間や工事の始期が限定されるという施工条件のもとで円滑な工事施工体制の確保し、発注業務の計画的な履行と平準化を図るため、全体工期内で発注者が始期後と来工期を指定する富山県土木部所管建設工事に係る余裕期間制度（発注者指定方式）試行要領に基づき実施するものとする。 2 工事の始期は、〇年〇月〇日とする。 3 受注者は、工事の始期後14日以内に施工計画書を発注者に提出するものとする。 4 受注者は、受注時の20%（OORING）への記録については、工事の始期後10日（休日を除く。）以内に登録するものとする。 5 受注者は、工事の始期後に速やかに、退職金制度届出書を発注者に提出するものとする。 6 余裕期間内に行う資機材の準備及び、技能労働者の手配などの準備等に必要現地への入り（工事着手以外の行為とする）については、発注者に了解を得るとともに関係法令等に基づく必要な手続きを行うものとする。 7 低収入価格等により、発注者が指定する工事の始期以降に契約を締結することとなった場合に余裕期間を適用しないものとする。 8 その他の特記仕様書に記載のないことについては、富山県土木部所管建設工事に係る余裕期間制度（発注者指定方式）試行要領によるものとする。
26 ウィークリスタンス	1 建設関係企業の担い手確保や生産性向上のため、この工事は受発注者間の仕事の進め方として、下のとおり、ウィークリスタンスの取り組みに努めることとする。 (1) 月曜日を依頼の期日とし（マンデー・ノーリクエスト） (2) 水曜日は定時に帰宅できるように必要対応を心がける（ウェンズデー・ホーム） (3) 金曜日に依頼しない（フライデー・ノーリクエスト） (4) 昼休みや午後5時以降の打ち合わせをしない（ランチャイム・オーバードライブ・ノーミーティング） (5) 定時開業、定時後の依頼をしない（イブニング・ノーリクエスト） この取り組みは、受発注者間の業務を進めるとともに姿勢を示したものであり、現場条件や企業の方針により曜日の変更等を行うことができるものとする。 3 災害発生時などの緊急対応については、上記の限りではなくて、受発注者が協力で臨機対応を行うものとする。

27建設キャリアアップシステムの活用

1 受注者が建設キャリアアップシステム（以下「CCUS」という。）を活用する場合、CCUS画面に必要な現場経費の一部を設計計上する。
2 設計計上にあたっては、「建設キャリアアップシステムを活用する工事における現場経費の設計計上について」の告知知らせによるものとする。この告知知らせは、富山県土木部建設技術企画課のホームページから入手できる。
(<https://www.pref.toyama.jp/1510/kendodokuri/toshikeikaku/kenchiku/kj000404/>、html)

28特例監理技術者及び監理技術者補佐の配置

※ 本工事において、建設業法第26条第3項ただし書きの適用を受ける監理技術者（以下、「特例監理技術者」という。）の配置を行う場合は、以下の(1)から(9)の要件を全て満たさなければならぬ。
(1) 建設業法第26条第3項ただし書きによる監理技術者の職務を補佐する者（以下、「監理技術者補佐」という。）を専任で配置すること。
(2) 監理技術者補佐は、1級建築施工管理技術士及び1級建築施工管理技士等の国家資格者、学歴若しくは経験により監理技術者の資格を有する者であること。なお、監理技術者補佐の建設業法第27条の規定に基づく技術検定科目は、特例監理技術者に対する技術検定科目と同一であること。
(3) 監理技術者補佐は、受注者と直接的かつ専断的な雇用関係にあること。
(4) 同一の特例監理技術者を配置できる工事は、同時に2名までとする。ただし、同一あるいは別々の者が、同一の建設業者と締結する契約工場の重複する複数の請負契約に係る工事であって、かつ、それぞれの工事の対象となる工作物等に一体性が認められるもの（当初の請負契約以外の請負契約が随時により締結される場合に限る。）については、これら複数の工事を一つの工事とする。
(5) 業務する工事が特例監理技術者としての職務を専任に遂行できる範囲内にあること。なお、範囲内については、工事現場が同一の土木センターに所在するものとする。
(6) 特例監理技術者が業務できる工事は、24時間体制での応急処理工や緊急巡回等が必要な工事以外の工事であらなければならない。
(7) 特例監理技術者は、施工における主要な会議への参加、現場の巡回及び主要な工程の立会等の職務を適正に遂行しなければならない。
(8) 特例監理技術者及び監理技術者補佐との間で常に連絡が取れる体制であること。
(9) 監理技術者補佐が担当業務について、明かされること。
※ 本工事の監理技術者の特例監理技術者として業務することとなる場合、上記(1)から(9)の事項について確認できる書類を提出すること。
※ 本工事において、特例監理技術者及び監理技術者補佐の配置を行う場合又は配置を要さなくなった場合は、適切にコンパス(DORINS)への登録を行うこと。
標準仕様書によるほか次に示す。

29提出図書等

(1) 設計図の製本
着工時 ・ 原図版 1部 ・ 縮小版 6部
(2) 工事写真

写真種別	撮影箇所数	提出規格	撮影者	備考
着工前写真	適正数	1版程度	構成員	※着工前と完成写真を対比したものをデジタルカメラは、130万画素以上
完成写真	適正数	(3枚/取)	P D F	・ 完成写真のみ（新築の場合）
施工中写真	適正数	—	JPEG	300万画素以上に撮影

(3) 機材の仕様
主要な機材については、発注前に納入仕様書を提出し、監理職員の確認を受ける。
(4) その他
監理職員の指示する書類。
(5) 完成時の図書
・ 完成図（設計図及び施工図を黒表紙に製本したもの） ・ 原図版 1部 ・ 縮小版 2部
・ 完成図(CADデータ）（CD-R 1枚×2部）
・ 保安に関する資料
・ 電子納品対象工事（以下に記す書類を電子納品する。）
・ 工事写真 ・ 施工計画書 ・ 完成図（CADデータ） ・ 参考図（ラスタデータ）

30電子納品

・ 電子納品対象工事（以下に記す書類を電子納品する。）
・ 工事写真 ・ 施工計画書 ・ 完成図（CADデータ） ・ 参考図（ラスタデータ）

31建設現場の遠隔監視に関する試行工事

本工事は、受発注者の移動時間の削減のため、「建設現場の遠隔監視に関する施行要領（令和6年4月富山県土木部）」の内容に従い、実施することができる。

①一般共通事項2

①適用基準等

○ 国土交通大臣官庁官庁官庁「建築工事写真撮影要領による工事写真撮影ガイドブック 電気設備工事編 令和5年版」
○ 国土交通大臣官庁官庁官庁「建築工事写真撮影要領による工事写真撮影ガイドブック 機械設備工事編 令和5年版」
○ 富山県電気用品適用品ガイドライン(案)「建築工事編」(令和5年4月)
○ 施工時間、工程、安全対策、工事用道路、仮設設備等は監理職員と協議する。

②配管技術士 ○ 1級 ・ 2級 ○ 熱絶縁施工技術士 ○ 1級 ・ 2級
・ 建築保安技術士 ○ 1級 ・ 2級 ○ 冷凍空調図機施工技術士 ○ 1級 ・ 2級
・ 一般用電気工作物及び家用電気工作物においては、法令で定める電気工事士とする。なお、需要設備500kV以上の自家発電電気工作物においても、第一種電気工事士により施工を行うものとする。

③仮設設備
仮設期間 ○ ・ 図示 ○
仮設設備項目 ○ ・ 受変電設備 ・ 発電設備 ○
④認定リサイクル製品の使用
・ 下記の項目については、「公共工事における富山県認定リサイクル製品利用方針」において優先利用ループに区分されている製品を使用する。

工 種	品 目	規 格

※ただし、その製品の入手が困難な場合は、監理職員と協議し、通常製品(新材で製造された製品)へ変更できるものとする。
・ 「公共工事における富山県認定リサイクル製品利用方針」に基づき、パイロット工事として下記の製品を使用する。

工 種	品 目	規 格	製品名

7建築工事との取合

工事区分表によるほか、次に示す。
補強を要する鉄筋コンクリート躯体(梁、壁、床)の貫通スリブ補強筋は（・別途 ・本工事）とする。
壁、貫通足の鉄骨(鉄梁、タクト、吹出し、大梁、換気筒等)の補強筋は（・別途 ・本工事）とする。
屋上基礎（・別途 ・本工事） 屋内基礎（・別途 ・本工事） 屋外基礎（・別途 ・本工事）
・ 関連工事の既設受注者が設置したものは、無償で使用できる。
・ 本工事で設置とする。（改修標準仕様書第1編2.1によるほか下記による。）
・ 内部足場（脚立、足場板等） ・ 外部足場 ・ 枠組足場 ・ くさび繫結足場 ・ 単管足場
※足場の設置においては、「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」における2の(1)手すり設置方式又は(2)手すり先行専用足場方式によるものとする。

9建築物又は工作物の解体等の作業

石綿等が使用されている場合、石綿検査予防規制に基づき、作業を行うこと。また、解体等の作業における保護員の配置、運搬を伴う費用、石綿の使用の有無を分析し行う調査した場合に要する費用等及びそれらに費やす工期については、監理職員と協議を行うこと。

⑩土 工 事

(1) 既土処理
・ 構内敷きなし ・ 構内の指定箇所に堆積
・ 構外搬出適切処理（受入れ場所：公共既土置き場）
※構外搬出の場合は関係法令に従い適切に処理するとともに、建設発主生情報交換システム及び公共工事土量調査システムを活用し、建設発主生の需給調整に努めること。
○ 埋切り土中の改良土 ○ 山砂
砂利事業（ ・ 切り取り砂利 ・ 切りだし砕石 ○ 再生クラッシャーラン）
（電気設備） 原則として、管の上部より一般敷地では600mm以上、車両道路では800mm以上とする。
（機械設備） 埋設深さ（管の上端深さ）は原則として、車両通行部分は ○ 600mm（ ・ ） 以上とする。
その他部分は ○ 450mm（ ・ ） 以上とする。

(2) 埋め戻し及び盛土
○ 埋切り土中の改良土 ○ 山砂
砂利事業（ ・ 切り取り砂利 ・ 切りだし砕石 ○ 再生クラッシャーラン）
（電気設備） 原則として、管の上部より一般敷地では600mm以上、車両道路では800mm以上とする。
（機械設備） 埋設深さ（管の上端深さ）は原則として、車両通行部分は ○ 600mm（ ・ ） 以上とする。
その他部分は ○ 450mm（ ・ ） 以上とする。

(3) 地中埋設等
1 地中埋設 〇 要（図示による） ・ 不要
2 埋設表示テープ 〇 要 ・ 不要
標準仕様書の2編2.7.1、2.7.2及び2.7.3による。
砕石100mm、山砂管上100mmとする。
MHA部、MR6部及びMHD部は富山県準入り（抽出し）不要

(4) 配 管
1 建物導入部の変位吸収方法は標準施工(建物導入部の変位吸収配管要領)による。
(a) ・ (b) ○ (c) スリークッション
2 接続部の非破壊検査 ・ (要採取) ・ 標準仕様書による ・ (要)

17

コンクリート工事
(1) 普通コンクリート

・ レディミクストコンクリート（Ⅰ類・Ⅱ類） ・ 現場拌りコンクリート
コンクリート設計基準強度（・18N/mm²-15-25（捨てコン）・21N/mm²-15-25・24N/mm²-15-25）
構造体コンクリートの強度補正値

打設日	3/10~7/6	7/7~9/5	9/6~11/19	11/20~3/9
補正値	3 N/mm ²	6 N/mm ²	3 N/mm ²	6 N/mm ²

18

鉄筋
耐震安全性の分類と耐震施工

コンクリート強度試験（・実施する） ・ 省略する（）
・ 形状係数（・SD295A・SD345）
施設機器の固定は、施設の種類に並びに機器の種類、重要度及び設置箇所に応じて、次の設計用水平地震力及び設計用鉛直地震力に対し、移動、転倒、破損等が生じないようにする。
1) 設計用水平地震力
機器の重量[kg]に、設計用水平地震を乗じたものとする。なお特記な場合、設計用水平地震は次による。水槽類は満水時の液体重量を含む総重量とする。
設計用水平地震度

設置場所	機器種別	特定の施設		一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階、屋上及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水 槽 類	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6
地下・1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6

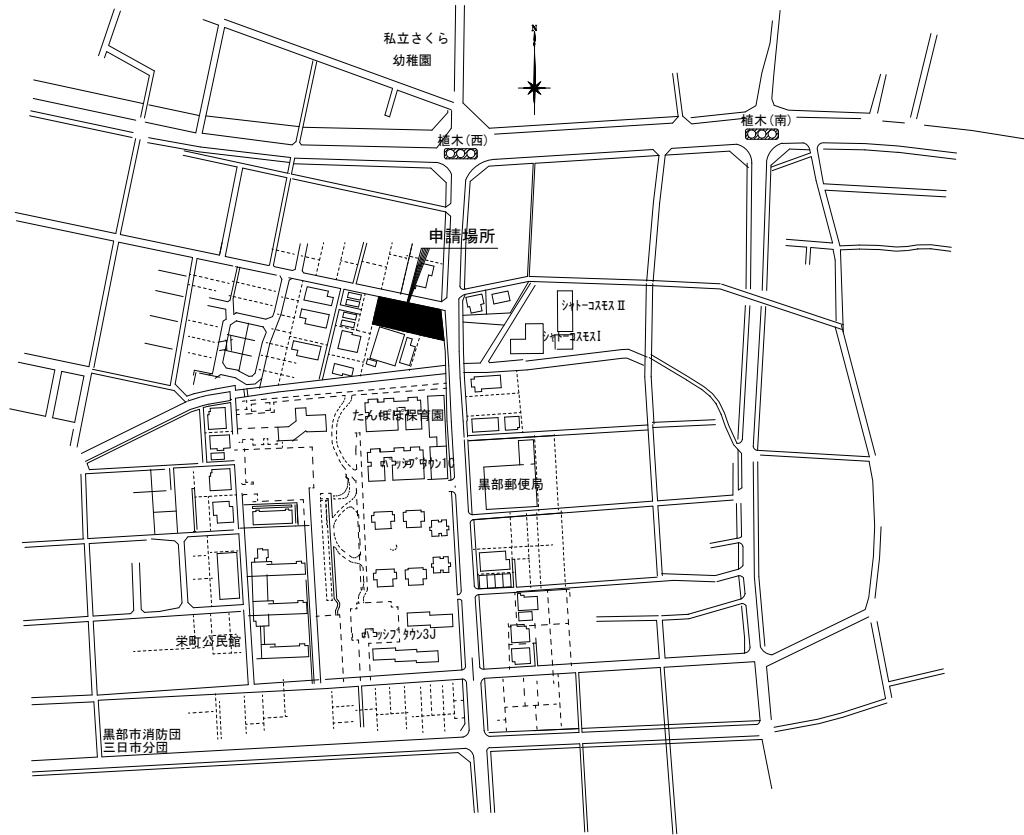
重要機器 ・ 配電盤 ・ 防災設備 ・ 発電設備
(電気設備) ・ 直流電源装置 ・ 交流無停電電源装置 ・ 交換機
・ 火災報知受信機 ・ 中央監視装置 ・
重要機器 ・ 水槽類（ ・ ・ ・ ）
(排水衛生設備) ・ 消火設備機器 ・
重要機器 ・ ボイラー ・ 冷凍機 ・ 冷水機 ・ 冷却塔
(空調設備) ・ 中央監視装置 ・ 空調調和機（ ・ ユニタリ形 ・ ユニタリ形 ・ パナソニック形）
・ 水槽類（ ・ ・ ・ ） ・ 排煙設備機器
注1) 上層階の定義は次による。
2) 6～9階の場合は最上層、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4層とする。
注2) 水槽類にはオイルタンク等を含むものとする。
設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。
3) あと施工アンカー
施工後確認試験 ・ 要（引張試験機による引張試験） ・ 不要
※機器取付にかかるとは事前に取付位置を確認する。
系統図、機器等の取り扱い方法及び重要な定数値検査項目を書いたアクリル樹脂製の運転操作説明板を機械室に設ける。説明板の大きさは約 m²とする。
④ 本工事 ・ 別途
調整項目（測定箇所等は監督職員の指示による。）
(給排水衛生設備)
① 水量調整 ・ 騒音の測定
② 飲料水の水質の測定
(・ 水質基準に関する省令(平成15年厚生労働省令)に基づく50項目及び消毒の残留効果
③ 建築物における衛生的環境の確保に関する法律施行規則第4章第3項(で定められた16項目)
(空調設備)
① 風量調整 ・ 水量調整 ② 室内外空気の温度の測定
・ 室内気流及びじんあいの測定 ・ 騒音の測定
④ 容量等の表示
1 機器類の能力、容量等(電動機出力を除く)は原則として表示された数値以上とする。
2 電動機の出力は原則として表示された出力以下の容量とする。
3 材料、施工方法及び厚さは特記がなければ標準仕様書第2編第3章の表2.3.1～2.3.7による。
4 防水は原則としてグラスウール保温材を使用するものとし、温水・蒸気・給湯以外の暖房内(ピット内を含む)及び屋外多湿箇所はポリスチレンフォーム保温材を使用するものとする。また、排煙ダクト及び暖道はウールフォーム保温材を使用するものとする。
5 合成樹脂製カバーは、(・ シートタイプ ・ ジACKETタイプ)を使用するものとする。
6 井水等の保温処理については冷水管の保温処理によるものとする。
7 給水、井水用の配管で呼び径以上の弁、ストレーナ等は、ビス等により容易に剥がせる金属製のカバーによる外装を施す。なお、屋内用は(カラー重鉛板、 ・ ・ ・)、屋外及び多湿箇所は(・ ステンレス鋼板 ・ ・ ・)とする。
⑤ 塗装及び防錆工事
1 適用の基準は以下の通りとする。
①機械設備：標準仕様書第2編第3章第2節による。
②電気設備：標準仕様書第1編第2章第7節による。
2 屋外及び多湿箇所の支持架台等は溶融亜鉛のめっき鋼材(HDZ35以上)またはステンレス鋼材を使用する。
3 次の箇所の保温しない配管及びダクトは塗装不要とする(ただし、SGP-風管及びSTGP370-風管は除く) ・ 機械室内(・ ・ ・)
⑥ は つ り
1 既存コンクリート床及び壁の配管用貫通部の穴あけは、ダイヤモンドカッターによる。
2 事前に非破壊検査調査を行い、監督職員に報告を行う。
⑦ ス リ ー プ
① 絶縁(一般級、壁) ② 鋼製(梁、水道を要する地中管) ③ 塩ビ製(水道を要しない地中管)
1 各種配管は、既設配管は、新設配管に適用する。
2 新設配管は、既設配管との接続前に試験を行う。
1 機器付属の制御盤及び操作盤以外の電気設備、配線は(・ 本工事 ・ 別途工事)とする。
2 制御盤及び操作盤に付属する機器の接地は(・ 本工事 ・ 別途工事)とする。
⑧ 吊り及び支持金物
① 地中、槽内、ピット内(・ ・ ・)の吊り金物・支持金物類はステンレス鋼製(SUS304)とする。

・ 撤去工事

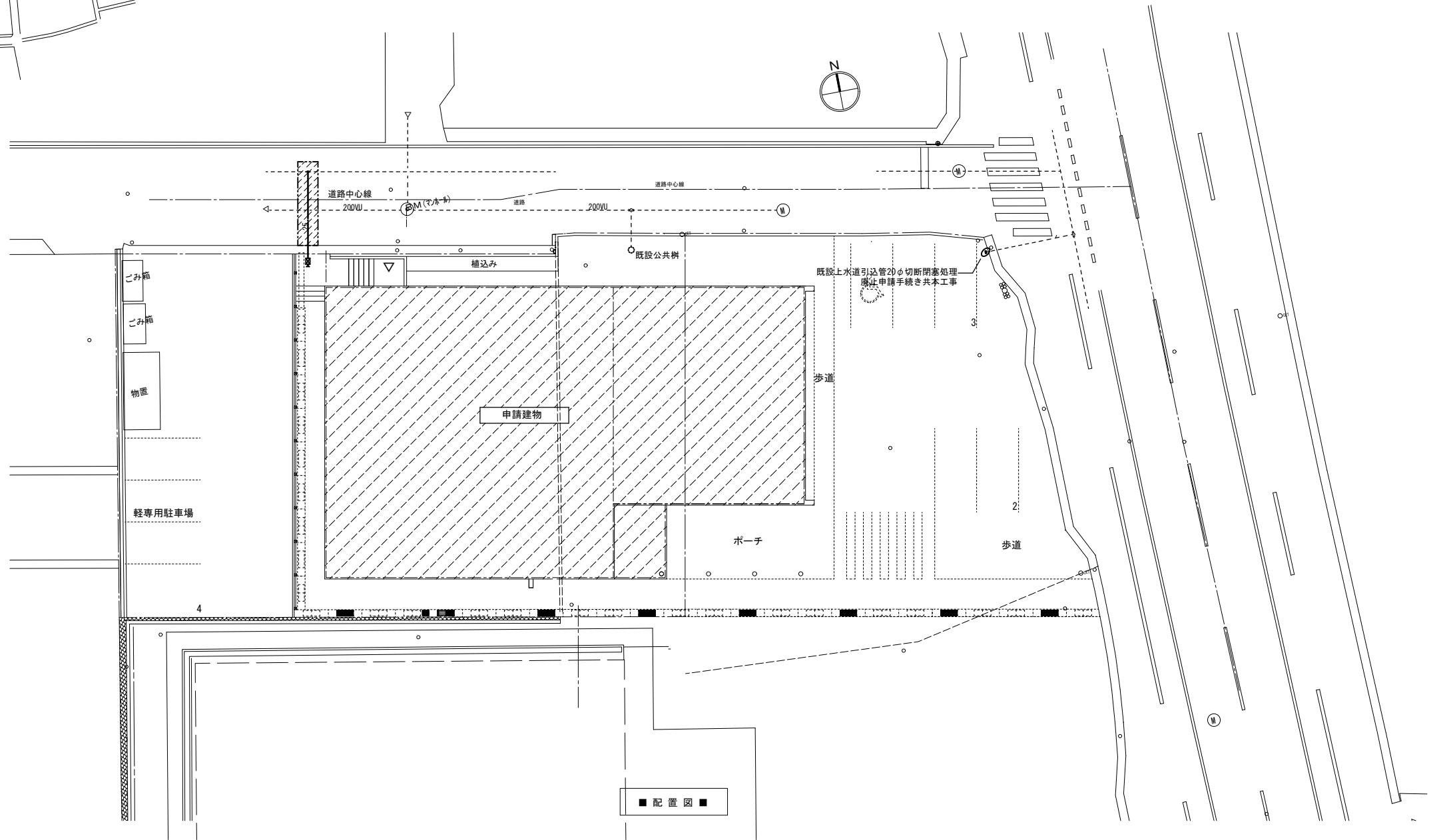
1 撤去内容
2 アスベスト含有調査等

図示による。
施工調査
※石綿含有建材の事前調査
工事着手に先立ち、目視及び貫する設計図書等により石綿を含有している吹き付け材、成形板及び建築材料等の使用の有無について調査する。
調査範囲(・ ・ ・) 貫与調査(・ ・ ・)
・ 分析による石綿含有建材の調査
※ 分析方法：定性分析はJIS A481-1又はJIS A481-2、定量分析はJIS A481-3又はJIS A481-4による。分析結果については、労働衛生に報告する。
・ 施工は大気汚染防止法、廃棄物処理法、労働安全衛生法、石綿障害予防規則(H17年厚生労働省令第21号、以下「石綿則」という。)その他の石綿処理に関する諸法令等に基づき、施工を行う。
3 冷媒(フロン類)の回収
1 冷凍機等の撤去に伴う冷媒の回収方法は、平成19年10月1日改正の「特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律」による。
2 冷媒の回収等の費用は(・ 本工事 ・ 別途)とする。
3 冷媒の回収にあたっては、監督職員に次の書類を提出する。
(イ) 第一種フロン回収業者登録通知書の写し
(ロ) フロン規制取証明書
(ハ) 特定家庭用廃棄物管理表(家電リサイクル券)の写し(家庭用エアコン等の場合)
・ 引渡しを要するもの(・ 図示による) ・
・ 特別管理産業廃棄物(・ ・ ・)
・ 同上の処理方法(・ ・ ・)
・ 再資源化を図るもの(・ ・ ・)
4 発生材の処理等

[illegible]



■ 附近見取図 ■



■ 配置図 ■

【空調設備 機器一覧表】（パッケージ型エアコン）

記 号	機 器 名 称	機 器 仕 様	付属電動機		台数	設置階	設置位置	備 考 参考品番
			電 源	容 量 kW				
PAC-101	空冷式パッケージエアコン	高効率型電気式ヒートポンプエアコン（冷暖切換タイプ） 天井カセット形4方向吹出 同時トリプル 高暖房能力型 定格冷房能力： 14.0 kW 冷房時消費電力： 3.87 kW 付属品：室外機用架台500H（溶融亜鉛メッキ）、ドレンアップメカ、 定格暖房能力： 16.0 kW 暖房時消費電力： 3.67 kW ロングライフフィルター、リモコン、その他付属品一式 レール付ブロック、SUS製防雪フード（前＋側面）、	3φ	200V	1	1階	事務室	PLZT-HRWP160H5
PAC-102	空冷式パッケージエアコン	高効率型電気式ヒートポンプエアコン（冷暖切換タイプ） 天井カセット形4方向吹出 同時ツイン （天井パネルは指定色） 定格冷房能力： 20.0 kW 冷房時消費電力： 5.33 kW 付属品：室外機用架台500H（溶融亜鉛メッキ）、防振架台、 定格暖房能力： 22.4 kW 暖房時消費電力： 4.96 kW ドレンアップメカ、ロングライフフィルター、リモコン、 自動昇降パネル、SUS製防雪フード（前面＋側面）、その他付属品一式	3φ	200V	2	1階	大会議室	PLZX-ZRMP224HF65
PAC-201	空冷式パッケージエアコン	高効率型電気式ヒートポンプエアコン（冷暖切換タイプ） 天井カセット形4方向吹出 同時ツイン 定格冷房能力： 20.0 kW 冷房時消費電力： 5.33 kW 付属品：室外機用架台500H（溶融亜鉛メッキ）、防振架台、 定格暖房能力： 22.4 kW 暖房時消費電力： 4.96 kW ドレンアップメカ、ロングライフフィルター、リモコン、 SUS製防雪フード（前面＋側面）、その他付属品一式	3φ	200V	1	2階	小会議室	PLZX-ZRMP224HF65
PAC-202	空冷式パッケージエアコン	高効率型電気式ヒートポンプエアコン（冷暖切換タイプ） 天井カセット形4方向吹出 同時ツイン 定格冷房能力： 20.0 kW 冷房時消費電力： 5.33 kW 付属品：室外機用架台500H（溶融亜鉛メッキ）、防振架台、 定格暖房能力： 22.4 kW 暖房時消費電力： 4.96 kW ドレンアップメカ、ロングライフフィルター、リモコン、 SUS製防雪フード（前面＋側面）、その他付属品一式	3φ	200V	1	2階	中会議室	PLZX-ZRMP224HF65
PAC-203	空冷式パッケージエアコン	高効率型電気式ヒートポンプエアコン（冷暖切換タイプ） 天井カセット形4方向吹出（コンパクトタイプ） 定格冷房能力： 5.6 kW 冷房時消費電力： 1.49 kW 付属品：室外機用架台500H（溶融亜鉛メッキ）、防振架台、 定格暖房能力： 6.3 kW 暖房時消費電力： 1.68 kW ドレンアップメカ、ロングライフフィルター、リモコン、 SUS製防雪フード（前面＋側面）、その他付属品一式	3φ	200V	1	2階	応接室	PLZX-ZRMP639F5
PAC-204	空冷式パッケージエアコン	高効率型電気式ヒートポンプエアコン（冷暖切換タイプ） 天井カセット形4方向吹出（コンパクトタイプ） 定格冷房能力： 7.1 kW 冷房時消費電力： 2.07 kW 付属品：室外機用架台500H（溶融亜鉛メッキ）、防振架台、 定格暖房能力： 8.0 kW 暖房時消費電力： 2.39 kW ドレンアップメカ、ロングライフフィルター、リモコン、 SUS製防雪フード（前面＋側面）、その他付属品一式	3φ	200V	1	2階	多目的コナ	PLZX-ZRMP809F5
HAC-201	ハウジングエアコン	1方向天井カセット形 定格冷房能力： 5.0 kW 冷房時消費電力： 1.78 kW 付属品：室外機用架台500H（溶融亜鉛メッキ）、防振架台、 定格暖房能力： 6.3 kW 暖房時消費電力： 2.05 kW ドレンアップメカ、ロングライフフィルター、リモコン、 同ホルダー、SUS製防雪フード（前面＋側面）その他付属品一式	1φ	200V	1	2階	女性会室	MLZX-RX5022AS
HAC-202	ハウジングエアコン	1方向天井カセット形 定格冷房能力： 6.3 kW 冷房時消費電力： 2.50 kW 付属品：室外機用架台500H（溶融亜鉛メッキ）、防振架台、 定格暖房能力： 7.1 kW 暖房時消費電力： 2.23 kW ドレンアップメカ、ロングライフフィルター、リモコン、 同ホルダー、SUS製防雪フード（前面＋側面）その他付属品一式	1φ	200V	1	2階	青年部室	MLZX-RX6322AS
RAC-101	ルームエアコン	壁掛形 定格冷房能力： 4.0 kW 冷房時消費電力： 1.66 kW 付属品：室外機用架台500H（溶融亜鉛メッキ）、 定格暖房能力： 5.0 kW 暖房時消費電力： 1.48 kW レール付ブロック、SUS製防雪フード（前＋側面）、	1φ	200V	1	1階	情報室	MSZ-S4025S
RAC-102	ルームエアコン	壁掛形 定格冷房能力： 5.6 kW 冷房時消費電力： 2.38 kW 付属品：室外機用架台500H（溶融亜鉛メッキ）、 定格暖房能力： 6.7 kW 暖房時消費電力： 1.98 kW レール付ブロック、SUS製防雪フード（前＋側面）、 リモコン、同ホルダー、その他付属品一式	1φ	200V	1	1階	多目的コナ 相談室1	MSZ-S5625S
RAC-103	ルームエアコン	壁掛形 定格冷房能力： 4.0 kW 冷房時消費電力： 1.66 kW 付属品：室外機用架台500H（溶融亜鉛メッキ）、 定格暖房能力： 5.0 kW 暖房時消費電力： 1.48 kW レール付ブロック、SUS製防雪フード（前＋側面）、 リモコン、同ホルダー、その他付属品一式	1φ	200V	1	1階	相談室2	MSZ-S4025S
RAC-104	ルームエアコン	壁掛形 定格冷房能力： 3.6 kW 冷房時消費電力： 1.415 kW 付属品：室外機用架台500H（溶融亜鉛メッキ）、 定格暖房能力： 4.2 kW 暖房時消費電力： 1.215 kW レール付ブロック、SUS製防雪フード（前＋側面）、 リモコン、同ホルダー、その他付属品一式	1φ	100V	1	1階	テナント 事務室	MSZ-S3625S
RAC-201	ルームエアコン	壁掛形 定格冷房能力： 3.6 kW 冷房時消費電力： 1.415 kW 付属品：室外機用架台500H（溶融亜鉛メッキ）、 定格暖房能力： 4.2 kW 暖房時消費電力： 1.215 kW レール付ブロック、SUS製防雪フード（前＋側面）、 リモコン、同ホルダー、その他付属品一式	1φ	100V	1	2階	相談室3	MSZ-S3625S

【注記】

※ 各エアコンは、2015年省エネ基準クリア品（GWP750）または、グリーン購入法適合品とする。

※ 冷暖配管サイズ及び二次配張り配継（共巻）はメーカー標準とし、本工事内施工とする。

※ 室外機用基礎コンクリートは建築工事とし、架台500H（溶融亜鉛メッキ製）は本工事とする。

※ 屋外露出部の冷暖配管は化粧保温ケース（スリムダクト）内に収納する。また、ドレン管は、VP管とし防露仕様等は排水管に準拠する。

※ K1値が1.8を超える機種は、アクティブフィルターを設けすること。

※ 各エアコンの能力及び消費電力は、JIS B 8616に規定された定格条件による。

【火気使用室の換気計算】

室 名	用途及びガス消費量	必要換気量（m3/h） ガス消費量Q（KW）×定数×理論廃ガス量m3/kw	設計換気量（m3/h）	判定	機器記号
給湯室	ガスコンロ L.Pガス消費量＝2.56KW	2.56×4.0×0.93m3/kw＝95.232m3/h	< 450m3/h	OK	R F-

【居室毎の機械換気設備】（無窓の居室）

室 名	床面積（㎡）	計算式（V＝2.0Af/N）	N（一人当の占有面積）	必要換気量（m3/h）	設計換気量（m3/h）	判定	備 考
1階事務室	119.94	V＝2.0Af/N＝20×119.94/6.6＝363.5	6.6	363.5	< 500	OK	HEA-500
1階大会議室	134.63	V＝2.0Af/N＝20×134.63/3＝897.5	3	897.5	< 1,100	OK	FS-101 x2 FE-101 x2
2階応接室	26.39	V＝2.0Af/N＝20×26.39/3＝175.9	3	175.9	< 300	OK	FV-203
2階中会議室	57.92	V＝2.0Af/N＝20×57.92/2.8＝413.7	2.8	413.7	< 720	OK	FS-201、FE-201

【空調設備 機器一覧表】（全熱交換形換気扇）

記 号	機 器 名 称	機 器 仕 様	付属電動機		台数	設置階	設置位置	備 考 参考品番
			電 源	容 量 W				
HEA-	共通事項	特記無きは、下記仕様による。 ※ 自動換気切替機能付き、自動ナイトバージ機能付き、24時間換気運転機能（微弱運転）付き、第1種換気設備。 ※ 全熱交換機的全熱交換効率等は、JIS B 8616に規定された定格値エンタルピー交換効率とする。 ※ 虫侵入防止ユニット、CO2センサー組込。						
HEA-500	全熱交換器付換気扇	天井埋込カセット形マイコンタイプ 付属品：24時間換気対応スイッチ、化粧パネル、防振吊具、 給気/排気風量：（特給）500 m3/h 機外静圧110（Pa） SUS製深形フード（防虫網付）指定色、給排気グリル P-236SF3 （弱）310 m3/h 24h換気（微弱）風量～（排気）175/（給気）190 m3/h 全熱交換効率： 冷房時～ 60.5 % 暖房時～ 67 %	1φ	100V（消費電力） 送風機 249/130/61	1	1階	事務室	LGH-N50CX3
HEA-250	全熱交換器付換気扇	天井埋込カセット形マイコンタイプ 付属品：24時間換気対応スイッチ、化粧パネル、防振吊具、 給気/排気風量：（強）250 m3/h 機外静圧80（Pa） SUS製深形フード（防虫網付）指定色、給排気グリル P-186SF3 （弱）125 m3/h 24h換気（微弱）風量～（排気）85/（給気）100 m3/h 全熱交換効率： 冷房時～ 61.5 % 暖房時～ 69 %	1φ	100V（消費電力） 送風機 128/81/44	1	1階	多目的コナ 相談室1	LGH-N25CX3

【空調設備 機器一覧表】（送風機）

記 号	機 器 名 称	機 器 仕 様	換気種別	付属電動機		台数	設置階	設置位置	備 考 参考品番
				電 源	容 量 W				
FS-101	ストレートシロッコファン （給気用）	消音形 #11/4(180φ)×550(強)/360(弱)m3/h×100Pa 付属品：防振吊り具、24h換気対応強弱スイッチ、 SUS製深形フード（防虫網付）指定色、給排気グリル P186SF3 x2	第一種換気	1φ 100V（消費電力） 100	45W（100）	2	1階	大会議室	BFS-50SSUA2
FE-101	ストレートシロッコファン （排気用）	消音形 #11/4(180φ)×550(強)/350(弱)m3/h×100Pa 付属品：防振吊り具、24h換気対応強弱スイッチ、 SUS製深形フード（防虫網付）指定色、給排気グリル P236SF3	第一種換気	1φ 100V（消費電力） 55W（62.5）	5W	2	1階	大会議室	BFS-50SUDC
FS-201	ストレートシロッコファン （給気用）	消音形 #11/4(200φ)×720(強)/500(弱)m3/h×100Pa 付属品：防振吊り具、24h換気対応強弱スイッチ、 SUS製深形フード（防虫網付）指定色、給排気グリル P186SF3 x2	第一種換気	1φ 100V（消費電力） 210	210	2	2階	小会議室 中会議室	BFS-80SSUA2
FE-201	ストレートシロッコファン （排気用）	消音形 #11/4(200φ)×720(強)/455(弱)m3/h×100Pa 付属品：防振吊り具、24h換気対応強弱スイッチ、 SUS製深形フード（防虫網付）指定色、給排気グリル P236SF3	第一種換気	1φ 100V（消費電力） 70W（83.2）	70W	2	2階	小会議室 中会議室	BFS-65SUDC
FV-101	天井埋込形換気扇	定風量形 180φ×300(強)/180(弱)m3/h×50Pa 付属品：24h換気対応スイッチ、防振吊り、 SUS製深形フード（防虫網付）指定色 他一式	第三種換気	1φ 100V（消費電力） 7.0W	7.0W	1	1階	情報室	VD-18ZVC7
FV-102	天井埋込形換気扇	定風量形 150φ×160(強)/85(弱)m3/h×50Pa 付属品：防振吊り、 SUS製深形フード（防虫網付）指定色 他一式	第三種換気	1φ 100V（消費電力） 5.0W	5.0W	1	1階	書庫	VD-15ZVC7
FV-103	天井埋込形換気扇	定風量形 130φ×120(強)/75(弱)m3/h×50Pa 付属品：24h換気対応スイッチ、防振吊り、 SUS製深形フード（防虫網付）指定色 他一式	第三種換気	1φ 100V（消費電力） 3.3W	3.3W	1	1階	相談室2	VD-13ZVC7
FV-104	天井埋込形換気扇	定風量形 130φ×120(強)m3/h×50Pa 付属品：防振吊り、 SUS製深形フード（防虫網付）指定色 他一式	第三種換気	1φ 100V（消費電力） 3.3W	3.3W	1	1階	女子更衣室	VD-13ZVC7
FV-105	天井埋込形換気扇	定風量形 150φ×160m3/h×50Pa 付属品：防振吊り、 SUS製深形フード（防虫網付）指定色 他一式	第三種換気	1φ 100V（消費電力） 3.3W	3.3W	1	1階	男子更衣室	VD-15ZVC7
FV-106	天井埋込形換気扇	定風量形 150φ×160(強)/85(弱)m3/h×50Pa 付属品：24h換気対応スイッチ、防振吊り、 SUS製深形フード（防虫網付）指定色 他一式	第三種換気	1φ 100V（消費電力） 3.3W	3.3W	1	1階	テナント 事務室	VD-15ZVC7
FV-107	天井埋込形換気扇	定風量形 180φ×300(強)/180(弱)m3/h×50Pa 付属品：防振吊り、 SUS製深形フード（防虫網付）指定色 他一式	第三種換気	1φ 100V（消費電力） 7.0W	7.0W	2	1階	男子WC、 女子WC	VD-18ZVC7
FV-108	天井埋込形換気扇	定風量形 130φ×120(強)m3/h×50Pa 付属品：防振吊り、 SUS製深形フード（防虫網付）指定色 他一式	第三種換気	1φ 100V（消費電力） 3.3W	3.3W	1	1階	多目的WC	VD-13ZVC7
FV-201	天井埋込形換気扇	定風量形 180φ×300(強)/180(弱)m3/h×50Pa 付属品：防振吊り、 SUS製深形フード（防虫網付）指定色 他一式	第三種換気	1φ 100V（消費電力） 7.0W	7.0W	1	2階	書庫・物置	VD-18ZVC7
FV-202	天井埋込形換気扇	定風量形 130φ×120(強)/75(弱)m3/h×50Pa 付属品：SUS製深形フード（防虫網付）指定色 他一式 SUS製深形フード（防虫網付）指定色 他一式	第三種換気	1φ 100V（消費電力） 3.3W	3.3W	1	2階	相談室3	VD-13ZVC7
FV-203	天井埋込形換気扇	定風量形 180φ×300(強)/180(弱)m3/h×50Pa付属品：24h換気対応スイッチ、防振吊り、 SUS製深形フード（防虫網付）指定色 他一式	第三種換気	1φ 100V（消費電力） 7.0W	7.0W	1	2階	応接室	VD-18ZVC7
FV-204	天井埋込形換気扇	定風量形 180φ×300(強)/180(弱)m3/h×50Pa付属品：24h換気対応スイッチ、防振吊り、 SUS製深形フード（防虫網付）指定色 他一式	第三種換気	1φ 100V（消費電力） 7.0W	7.0W	2	2階	女性会室 青年部室	VD-18ZVC7
FV-205	天井埋込形換気扇	定風量形 200φ×340(強)/230(弱)m3/h×50Pa 付属品：24h換気対応スイッチ、防振吊り、 SUS製深形フード（防虫網付）指定色 他一式	第三種換気	1φ 100V（消費電力） 9.0W	9.0W	1	2階	多目的コナ	VD-20ZVC7
OAS-150	天井埋込形グリルサイレンサー	150φ用 角形グリル フィルター内蔵形 付属品：SUS製深形フード（防虫網付）指定色 他一式				6	2階	相談室3 他	P-186SF3
OAG-100	給排気グリル	天井取付形100φ用 フィルター付 SUS製深形フード（防虫網付）指定色 他一式				3	1階	相談室2 他	P-136HF5
OAG-150	給排気グリル	天井取付形150φ用 フィルター付 SUS製深形フード（防虫網付）指定色 他一式				1	1階	情報室	P-186HF5
OAG-200	給排気グリル	天井取付形200φ用 フィルター付 SUS製深形フード（防虫網付）指定色 他一式				2	1階	給湯室、廊下	P-236HF5
R F-	レンジフード	本体～建築工事（排気ダクト～本工事） 150φSUS製深形フード（防虫網付）指定色～本工事 （BDR-3HL-601：W600×450m3/h×100Pa）				－	1階	給湯室	

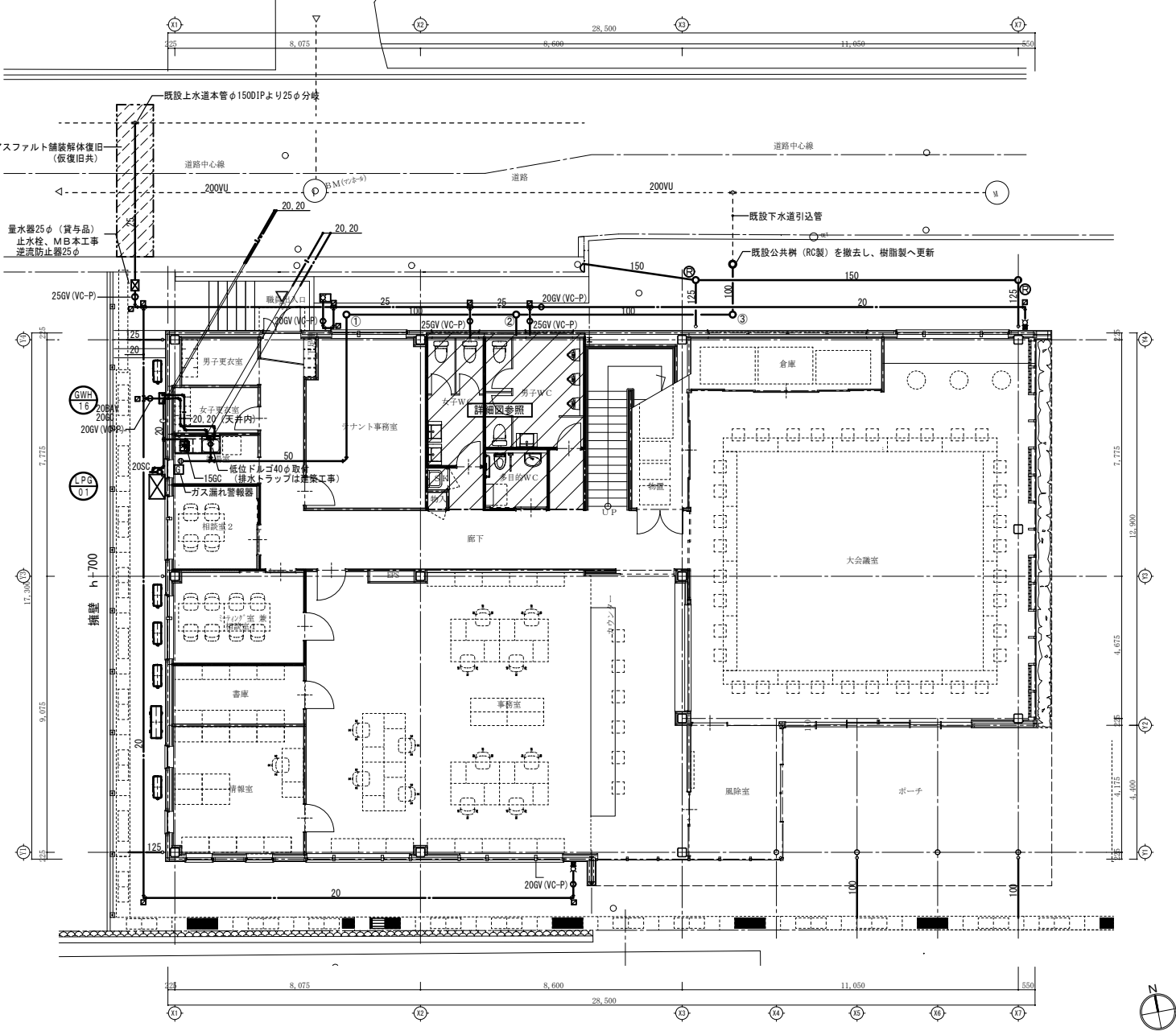
※居室の室内仕上材料はF☆☆☆☆とする。

※天井裏等の下地に第1種及び第2種ホルムアルデヒド発散建筑材料を使用しないこと。

階	室 名	床面積（㎡）	平均天井高（m）	気 積（m3）	換気種別	給気量(A)（m3/h）	排気量(B)（m3/h）	換気回数（n）	判 定	備 考
1	相談室2	8.40	2.70	22.68	第3種換気	(OAG-100)	75	3.30	> 0.3 回	OK FV-103
1	ハウジング 兼相談室1	13.95	2.70	37.67	第1種換気	100	85	2.25	> 0.3 回	OK HEA-250
1	情報室	19.80	2.70	53.46	第3種換気	(OAG-150)	180	3.36	> 0.3 回	OK EV-101
1	事務室	119.94	2.70	323.84	第1種換気	190	175	0.54	> 0.3 回	OK HEA-500
1	テナント事務室	22.60	2.70	61.02	第3種換気	(OAG-100)	85	1.39	> 0.3 回	OK FV-106
1	大会議室(倉庫倉)	146.738	3.25	476.90	第1種換気	360	350	0.73	> 0.3 回	OK FS-101 FE-101
2	相談室3	8.31	2.70	22.44	第3種換気	(OAS-150)	75	3.34	> 0.3 回	OK FV-202
2	応接室	26.39	2.70	71.25	第3種換気	(OAS-150)	180	2.52	> 0.3 回	OK V-203
2	女性会室	13.87	2.70	37.45	第3種換気	(OAS-150)	180	4.80	> 0.3 回	OK FV-204
2	青年部室	13.89	2.70	37.50	第3種換気	(OAS-150)	180	4.80	> 0.3 回	OK FV-204
2	小会議室	51.79	2.70	139.83	第1種換気	500	455	3.25	> 0.3 回	OK FS-201 FE-201
2	中会議室	57.92	2.70	156.38	第1種換気	500	455	2.90	> 0.3 回	OK FS-201 FE-201
2	多目的コーナー	24.31	2.70	65.64		(OAS-150)	230			FV-205
2	廊 下	27.666	2.70	74.70						
1	男子更衣室	5.27	2.50	13.18			85			FV-105
1	廊 下	42.647	2.70	115.15		(OAG-200)				
	階段室	19.885	6.45	128.13						
	(計)			396.80	第3種換気	(315)	315	0.79	> 0.3 回	OK

【衛生設備 機器一覧表】

記 号	機 器 名 称	機 器 仕 様	付属電動機			台 数	設置階	設置位置	備 考
			電 源	容 量 KW					
GWH-16	業務用ガス給湯機	屋外壁掛形 給湯専用 給湯能力 27.9～4.0KW (16号～2.3号) 参考品番: RUXC-A1610W (A) ガス消費量 34.1KW (29.300kcal/h) 熱効率 82.1% 付属品等: 凍結予防ヒーター (7.4W)、配管カバー、リモコン、同ケーブル、排気カバー、その他付属品一式 ※ 定格加熱能力及び定格消費電力は、JIS C 9219の定格条件及び試験方法による。 ※ 転倒防止措置～国土交通省告示1447号適合品	1φ	100V	40W	1	1階	給湯室用	
LPG-01	プロパンガス集合装置	LPGガス容器 30kg × 2本立 (ガスボンベ及びガス計量器 (マイコンメーター) は別途納入業者の貸与品) 集合装置、圧力調整器、転倒防止、容器収納庫 (参考: 30-PT1) その他付属品一式 本工事							

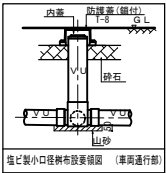


1 階 平 面 図
1 : 100 (A1)
1 : 200 (A3)

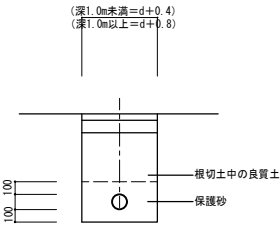
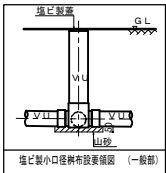
【凡例】
■ : 配管地中埋設票を示す。

【排水樹リスト】

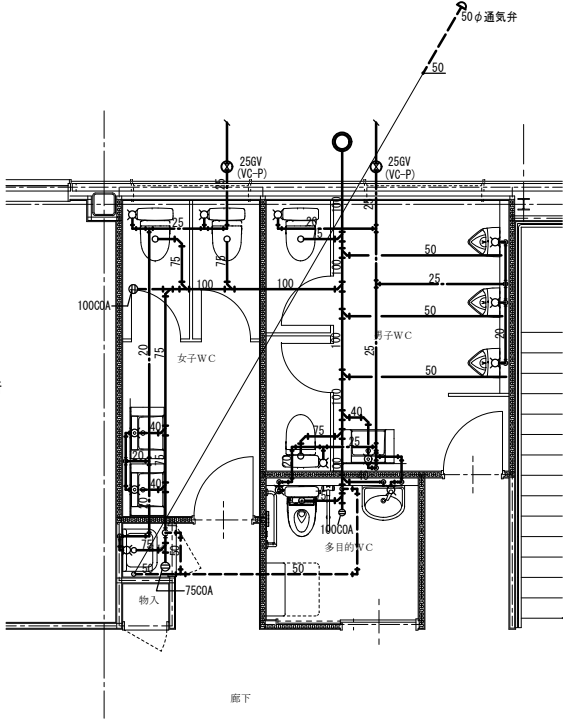
記 号	樹 種 別	樹深さ (GL基準)	樹型式・参考品番		備 考
1	汚 水 樹	300	塩ビ製小口径樹	UTK100×50-150	塩ビ製蓋付
2	汚 水 樹	415	塩ビ製小口径樹	90Y100-150	塩ビ製蓋付
3	汚 水 樹	450	塩ビ製小口径樹	90L100-150	塩ビ製蓋付
4	汚 水 樹	500	塩ビ製小口径樹	DR 100-150	塩ビ製蓋付
	公 共 樹	1,200	樹脂製200φ (市指定品)・・・既設RC樹を撤去更新する		
R	雨 水 樹	300	塩ビ製小口径樹	200φ	塩ビ製蓋付 × 2ヶ所



小口径樹敷設要領 (断面図)

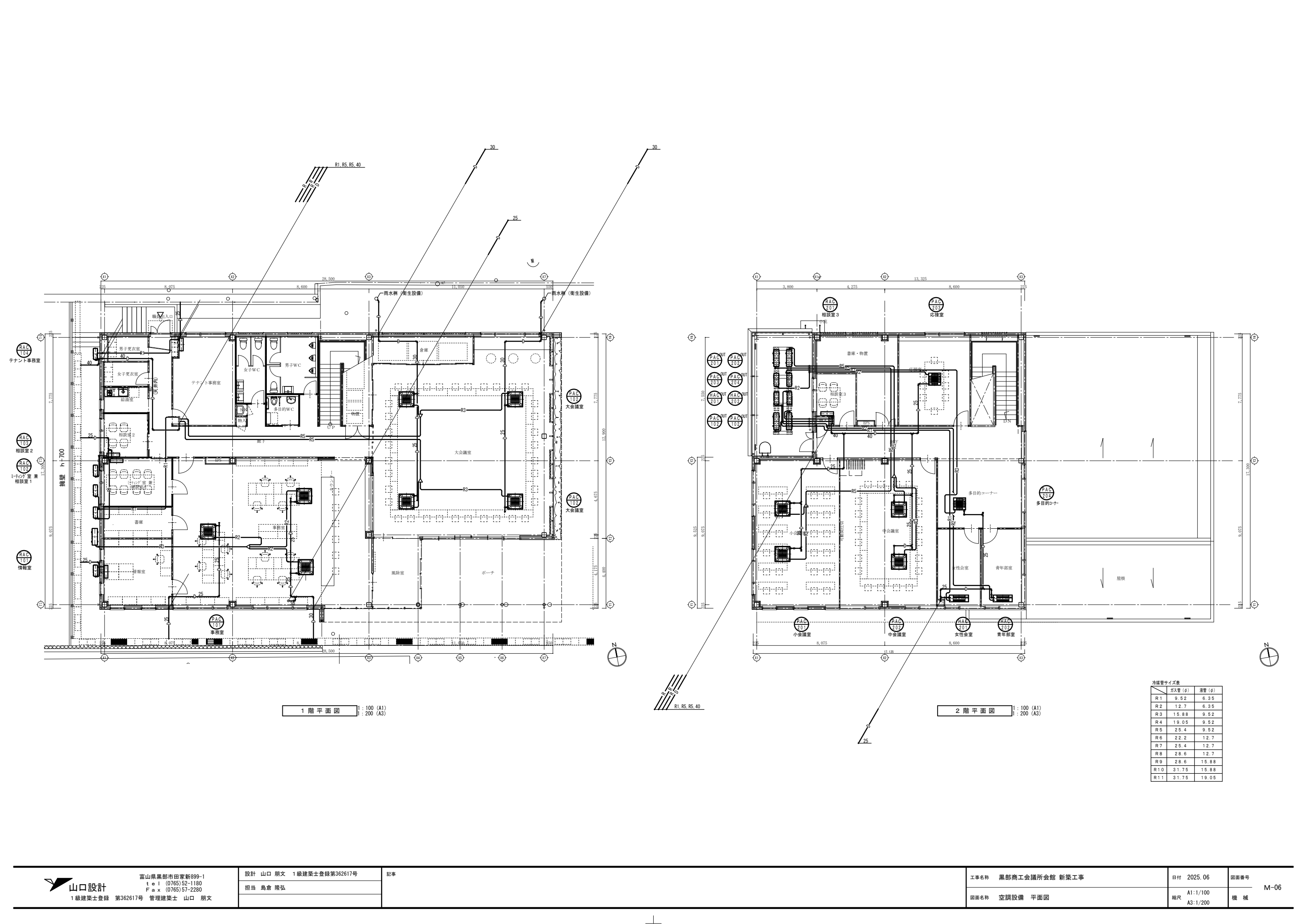


排水管敷設要領 (掘断断面図)



便所平面詳細図
1 : 50 (A1)
1 : 100 (A3)

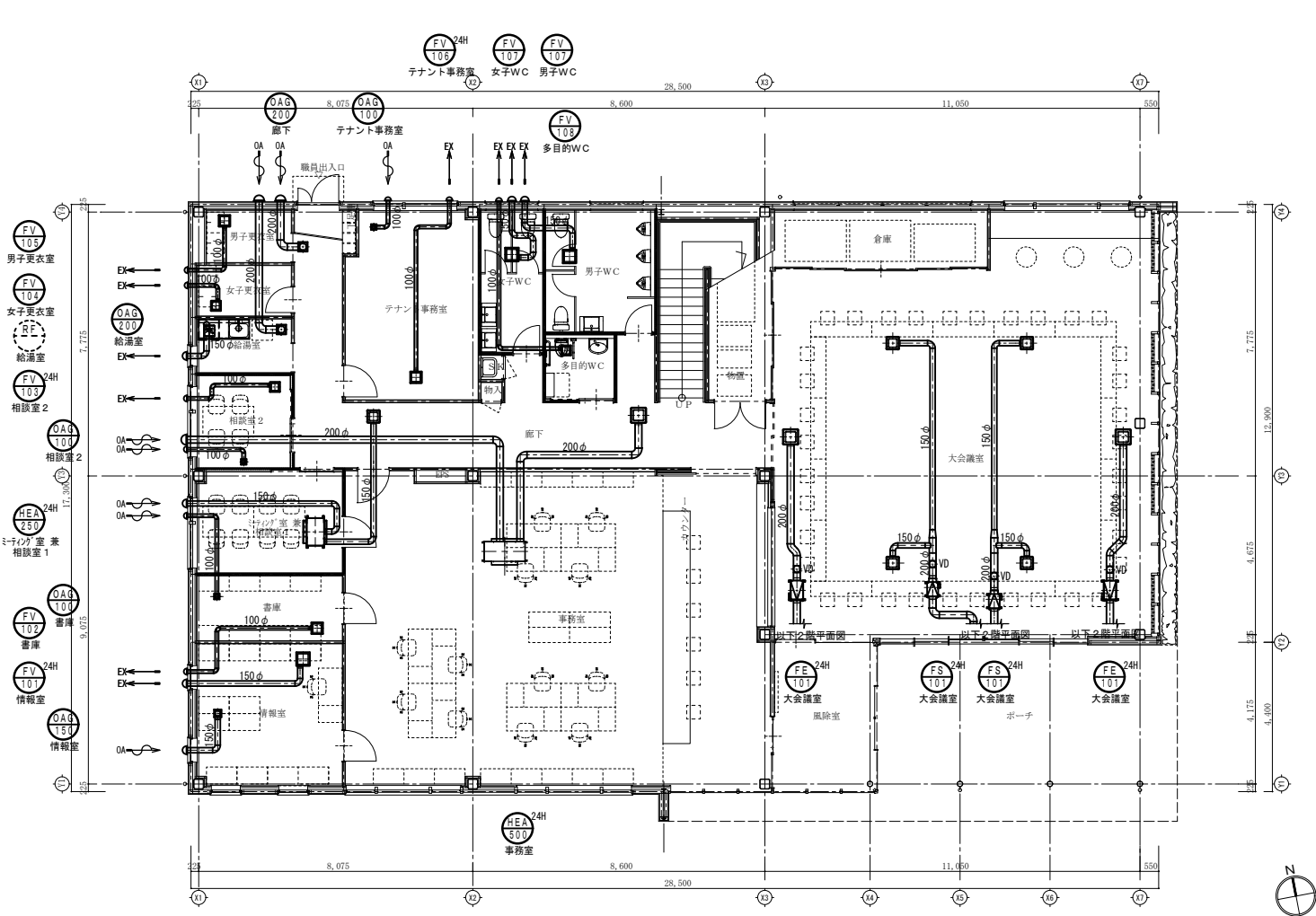
器具名称	参考型式・品番	数 量	取付場所
洋 風 大 便 器	CFS498BMKT (フラッシュタンク式モデル) TCF5534AU (温水洗浄便座) YH702 (棚付二連紙巻き器)	2	女 子 W C
便座除菌用ディスペンサー	SC-460R (サラヤ)	2	
洗 面 器	MVRS45P TLE25SS1A (自動水栓) TH500P32 (排水金物)	2	
化 粧 鏡	(建築工事)	—	
掃除用流し	SK22A T23AEQ20C (レバー式水栓) TN114 (止水栓) T37SGEP (排水金物)	1	
洋 風 大 便 器	CFS498BMKT (フラッシュタンク式モデル) TCF5534AU (温水洗浄便座) YH702 (棚付二連紙巻き器)	1	男 子 W C
"	CFS498BKT (フラッシュタンク式) TCF5534AU (温水洗浄便座) YH702 (棚付二連紙巻き器)	1	
便座除菌用ディスペンサー	SC-460R (サラヤ)	2	
壁掛形小便器	UFS900JCS (自動洗浄式低リップ形)	3	
洗 面 器	MVRS45P TLE25SS1A (自動水栓) TH500P32 (排水金物)	1	
化 粧 鏡	(建築工事)	—	
洋 風 大 便 器	CFS498BCKT (フラッシュタンク式) TCF5841AUP (温水洗浄便座 便蓋なし金属ベースプレート付) YH702 (棚付二連紙巻き器)	1	多 目 的 W C
背 も た れ	EWC383CR	1	
便座除菌用ディスペンサー	SC-460R (サラヤ)	1	
跳ね上げ手すり	(建築工事)	—	
L型手すり	(建築工事)	—	
洗 面 器	L250C TLE28SS1A (自動水栓) TLDP2105JA (排水金物)	1	
化 粧 鏡	(建築工事)	—	
ペピーシート	(建築工事)	—	
湯 水 混 合 栓	(建築工事)	—	給 湯 室
同上用止水栓	TL4CU (アングル形)	2	
ガス漏れ警報器	LPG用	1	
キー式横水栓	T28AKUH13 水栓柱 (樹脂製)	2	屋 外
キー式散水栓	T28KUNH13 B-3 (SUS製)	1	



1 階平面図
1: 100 (A1)
1: 200 (A3)

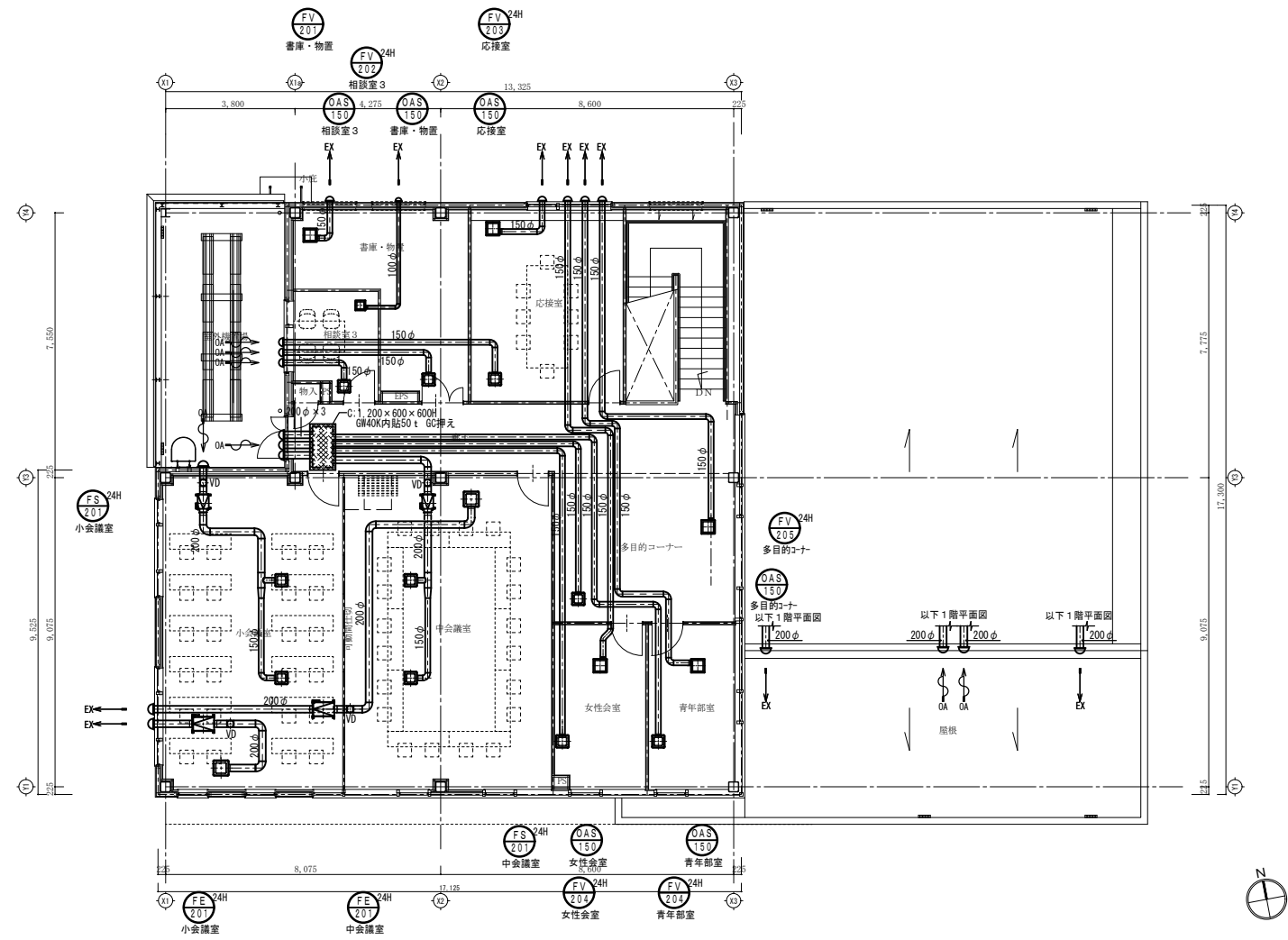
2 階平面図
1: 100 (A1)
1: 200 (A3)

冷媒管サイズ表		
	ガス管 (φ)	液管 (φ)
R 1	9.52	6.35
R 2	12.7	6.35
R 3	15.88	9.52
R 4	19.05	9.52
R 5	25.4	9.52
R 6	22.2	12.7
R 7	25.4	12.7
R 8	28.6	12.7
R 9	28.6	15.88
R 10	31.75	15.88
R 11	31.75	19.05



1 階平面図
1: 100 (A1)
1: 200 (A3)

【注記】
※ レンジフード系排気ダクトは下記仕様にて保温施工のこと。
～ロックウール50m/m巻 (N・(イ)・Ⅹ)



2 階平面図
1: 100 (A1)
1: 200 (A3)